

このまま経営できるか不安だとの声も...

日本共産党市議団で障害者施設・病院などを視察

3 議員 一般質問の日程とテーマ

【杉本敏宏議員】14日午後の予定

成果主義賃金と行政サービスについて。

大型店パローの出店について。

指定管理者制度の運用

【橋爪法一議員】15日午後の予定

高田測候所廃止計画。

人にやさしいまちづくりについて。

豪雪地帯での安心・安全対策について。

【樋口良子議員】16日午後の予定

教育基本法「改正」について。

障害者自立支援法の実施とサービス。

一般質問はJCV(上越ケーブルビジョン)及びインターネットで中継されます。

最近、大きな話題になっている大型ショッピングセンター「パロー」進出予定地では、T産業のブルが何台も動き回っていました。

上越ウイング、ジャスコができただけでも地元商業、まちづくりには大きなインパクトを与えましたが、今回の進出計画については、情報がほとんどなし。広大な建設予定地で動くブルを見ながら、3人で「問題は(質問で)どう切り込んでいくかだ」と、議会での追及点などについて話し合いました。

パロー進出予定地も視察

今回お訪ねした病院では、院長さんから病院経営の厳しさを教えていただきました。近年、診療報酬がどんどん削られていることは承知していましたが、「そのなかでやっていくしかない」というお話は、くやしさとあきらめがにじんでいました。院長さんは、医療保険の改定や介護保険などで事務がたいへんになっていること、看護師の確保に苦慮していることなども訴えておられました。

ることです。



6月4日、党市議団で2つの障害者施設と1つの医院、それに大型ショッピングセンターの建設予定地を訪ねてきました。介護保険の改悪、障害者自立支援法の実施、医療改悪の動きなど、市民生活に重大な影響を与える事態となっているなかで、現況を把握しておく必要があったからです。

党市議団として障害者施設を訪ねたのは初めてです。2つとも知的障害をお持ちの方々の方々の施設です。訪ねた時は丁度空き缶のリサイクル、電球のパック詰めなどの作業をみんなで行っている最中でした。説明してくださった方によると、作業は単純で繰り返すことになるが、すっかり覚えるまでには時間がかかる、しかしいったん覚えれば根気強くやってくれるというお話でした。自立支援法で負担が増えたことにより経営が成り立つかどうか不安だという話もお聞きしました。

問題なのは、こうした施設は本来、会社・工場などに勤めるための通過点の施設でなければならぬのに、地域に雇用の場がなく、ここで仕事をし続けるしかない現実となっている



日本共産党上越市議団ニュース

5 1 2006年6月11日

連絡先	杉本敏宏	5 2 4 - 3 7 8 7	(東本町5)
	樋口良子	5 4 4 - 6 8 0 2	(中門前3)
	橋爪法一	5 4 8 - 3 6 2 8	(吉川区代石)
事務局長	上野公悦	5 3 0 - 2 2 0 3	(頸城区中柳町)